

子どもの性についての対応の仕方、伝え方

～自分を大切にできる気持ちを育てるために～

人の見た目や考え方、成長のスピードは一人ひとり異なります。また、家族の形など背景も様々です。

「人はそれぞれ異なり、一人ひとり大切にされる権利がある」、「あなたの身体はあなたの大切なもの」と保護者自身が理解し、子どもに繰り返し話すことで、子どもが自分を大切にできる気持ちを培っていきましょう。



「人はそれぞれ違うこと」を伝えることから

子どもが「人はそれぞれ違うこと」を理解して、自己肯定感を高めるために、子どもの理解に合わせて話します。（自己肯定感：自己を尊重し、好ましい存在として肯定的に受け入れることができる感情）

＜保護者へ勧める対応＞

- 「人はそれぞれ異なり、一人ひとり大切にされる権利があるんだよ」
- 「あなたはなりたいあなたになっていい」

子どもの身体と大人の身体の違いの伝え方

幼児期の子どもは、子どもと大人の身体の違いに興味を持ちます。保護者が子どもと一緒に、子どもの身体と大人の身体の異なる部分を確認することからはじめ、なぜ違うのかを伝えることで子どもの疑問に答えることができます。

＜保護者へ勧める対応＞

- 子どもからの質問を大切にできる姿勢を示す

答えにくい質問であってもはぐらかさずに「大事なことから一緒に調べようね」と話すなどして対応する。大人と子どもの身体の違いや思春期の身体の変化について描かれた絵本を一緒に読むのもよい。

- 子どもには、わかりやすい言葉を使って説明する

子どもと大人の身体の異なる部分や異なる理由を子どもが理解しやすい言葉で説明する。性器の名称は、家庭でなじみのある呼び方を使っても構わない。子どもに月経について話す際は、身体の仕組みをイメージしやすいように、一例として子宮内膜を「赤ちゃんのためのベッド」と例えるのも方法の一つ。

- 「身体の変化のスピードは個人差が大きく、いつどんな速さで変わるのかは人によって異なること」を保護者自身が理解して、子どもに伝える

- 思春期の身体の変化については子どもの発達と理解に応じて少しずつ話をするのが望ましい

- 「身体の中では精巣で赤ちゃんのもとになる精子を作るようになるよ」「あなたの卵巣では卵子が作られるようになるよ」のように子どもを主語にして話すと、子ども自身が身体に起こる変化として認識しやすくなる

子どもの性の健康に関する情報サイト

詳しくは、子どもの性の健康に関する情報サイト「命育(めいいく)」<https://meiiku.com/>へ性の会話に役立つ絵本や書籍の紹介、子どもの身体や性に関するお悩みに専門家が回答するQ&A、相談窓口一覧なども掲載しています。



「Consent for kids

～子どもにとっての同意 あなたの身体も心も他の誰でもないあなただけの大切なもの ～」



この動画の日本語の吹替版は、函館性暴力防止対策協議会が作成し、性暴力の予防教育の場での活用を推進しています。

「あなたの身体も心もあなたの大切なもの」というメッセージが込められています。

お子さんと是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=xxlwgv-jVI8>



・これは君、あまり似てないかもしれないけれど、とりあえず君ってことにしよう

・これは君の体

・君の体をどうするかは君が決める

・君の体のことを決められるのは他の誰でもないんだ

・友達じゃない、知らない人でもない、知っている大人でもない

・君の体をどうするか決められるのは他の人じゃない、君だけなんだ

・これを体の自己決定って言うんだよ

・それが同意ってことなんだ

・人は皆違う

・ハグが大好きな人もいれば、ハグが大嫌いな人もいる

・皆それぞれ自分の好き嫌いってあるよね

・じゃあハグが好きだったら誰にでもハグしていいの

・違うよね、同意が必要なんだ

・じゃあどうしたらその人が同意してくれるか分かる？

・聞けばいい

・ハグしてもいい？ うんいいよ

・手を繋いでもいい？ ちょっと嫌かな

・分かった

・もしハグしてもいいって聞いた時、いいじゃなくて、うーんどうかな、なんて言われたら同意してないってことだよ

・とっても簡単でしょ

・同意するか聞いてその答えを聞くんだ

・でも何か好きなものをくれたり、脅してきたりして、いいよって言われたら、それは本当の同意じゃない

・それから大人からお願いされることがあるかも、おばちゃんにさよならのキスしなさいとか

・でもどうするか決めるのは君

・それちょっと嫌だな、代わりに手を振るよっ、と言っていいんだ

・子どもが同意できないこともある

・例えば難しい書類にサインするとか、選挙するとか、エッチなことだよ

・だって子どもなんだから

・だからもし子どもが同意できないことをする大人がいたら、それは良くないこと

・悪いのは大人、子どもは悪くないよ

・大事なことはそういうことがあったら先生みたいに信用できる大人に話すこと

・どうしてって？

・それは君の体をどうするか決められるのは君だけだから

・同意って大事なことなんだ



(資料：函館性暴力防止対策協議会)

作成：愛知県保健医療局健康医療部健康対策課 (2022.8)